

社会的事象の見方・考え方を働かせ、多角的に考える児童の育成

—視点を意識した発問と資料提示の工夫を通して—

前橋市立城南小学校 並木 勝洋

I 主題設定の理由

小学校学習指導要領（平成 26 年告示）では、児童が社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、公民としての資質・能力の基礎を育成することが小学校社会科の目標に示されており、その中で、社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考え、考えたことを適切に表現する力を養うことが求められている。平成 30 年度前橋市各教科指導の努力点には「社会的な見方や考え方を育み、学びを実感できる指導の工夫」として「児童・生徒が多面的・多角的に考え、確かな根拠を基に自分の考えをまとめていくことで学びを実感できるようにする」と示されている。

本学級の児童は、社会的事象の特色について考える際に、一つの立場で捉えるだけで満足してしまい、複数の立場から考えることが苦手である。

そこで、本研究では、児童が社会的事象の見方・考え方を働かせて考えられるように、社会的事象の見方・考え方の視点を意識した発問と資料提示の工夫を行う。本研究では、社会的事象の見方・考え方の視点とは小学校学習指導要領解説社会編にあるように「位置や空間的な広がり」、「時期や時間の経過」、「事象や人々の相互関係」の 3 つを指し、これらの視点を意識した発問と資料提示の工夫の実践により、社会的事象の見方・考え方を働かせ、多角的に考える児童の育成ができると考え、本主題を設定した。

II 研究のねらい

社会的事象の見方・考え方を働かせ、多角的に考える児童の育成のために、視点を意識した発問と資料提示の工夫を取り入れたことが有効であることを、実践を通して明らかにする。

III 研究の見通し

視点を意識した発問と資料提示の工夫により、社会的事象の見方・考え方を働かせ、多角的に考える児童の育成することができるであろう。

そのために、以下の手立てを講じる。

- 1 児童が社会的事象の見方・考え方を働かせて学習活動に取り組めるよう、学習課題を解決していく際に、視点を意識した発問を行う。
- 2 児童が社会的事象の特色について多角的に考えることができるよう、発問の答えを考える際に、比較・関連付けがしやすい複数の資料を提示する。

IV 実践内容

小学校5年生の学級（34名）において、単元「工業生産と工業地域」で授業実践を行った。

1 見通し1【視点を意識した発問の工夫】

(1) 実践の概要

本時の学習課題「日本の工業のさかんな地域の特色について資料を使って考えよう。」を解決していく段階で、「どこに、どのようなものが、どのように広がっているか。」について考えることができるように、位置や空間的な広がり視点意識し、「工業のさかんな地域はどのような場所に集まっていますか。工業地域の分布図と他の地図資料とを見比べながら考えてみよう。」と問いかけた（発問①）。

次に、「なぜ、そこでそのような特色が見られるのか。」について考えることができるように、事象や人々の相互関係の視点を意識し、「工業のさかんな地域はなぜこのような場所に集まっていますか。その理由を考えてみよう。」と問いかけた（発問②）。

(2) 結果と考察

「工業地域・工業地帯分布図」と他の地図資料を比較する際（発問①）、児童は位置や空間的な広がり視点意識し、工業地域の分布図と他の地図資料を比較して分かったことをワークシートに記入していた。

比較した地図資料	2枚の地図資料を比較して分かったこと
高速道路網	高速道路が通っているところに集まっている
主な貿易港	貿易港の近くに集まっている
主な地形	平野部に集まっている
人口分布	人口の多いところに集まっている
気候区分	気候とは関係ない

図1 ワークシートに記入した解答例

また、児童が分布理由を考察する際（発問②）、児童は地図資料と写真資料の相互関係に着目して、それぞれから読み取れる特色をワークシートに記入していた。

以上のことから学習課題を解決していく際に視点を意識した発問を取り入れたことは、社会的事象の見方・考え方を働かせて学習活動に取り組む上で有効であったと考える。

2 見通し2【資料提示の工夫】

(1) 実践の概要

発問①では、「工業地域・工業地帯分布図」と同じ縮尺の「人口分布図」、「地形図」、「交通網」、「主な貿易港」、「気候区分図」の各地図資料を配付し、児童がどの地図資料を用いるか取捨選択しながら活動に取り組めるようにした。また、苦手な児童でも地図資料を比較することができるように「工業地域・工業地帯分布図」をトレーシングペーパーにコピーした地図資料を用意し、比較すべき2つの地図資料を重ね合わせて比較することができるようにした。

発問②では、「トラック」、「工場働く人」、「上空から撮影した大工場」、「停泊している輸送船」の各写真資料を配付し、それらの写真資料から読み取れる特色と地図資料の特色

を関連付けて考えることができるようにした（図2）。

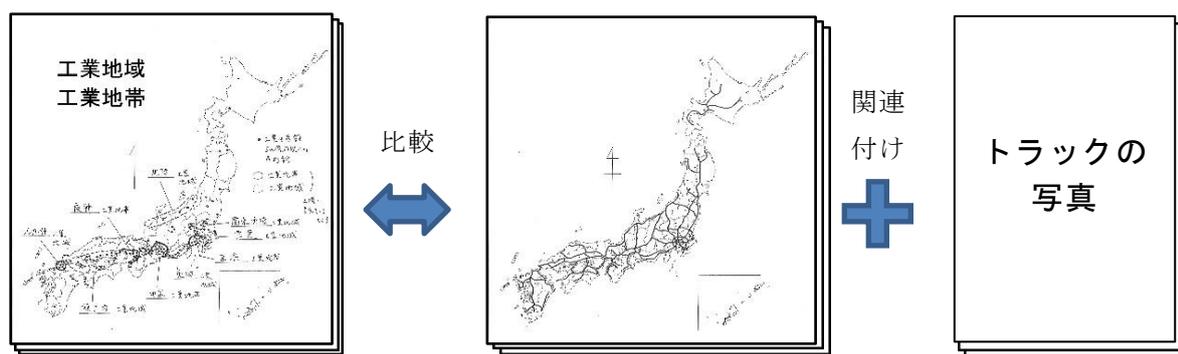


図2 配付した地図資料と写真資料（一部）

(2) 結果と考察

元になる「工業地域・工業地帯分布図」と各地図資料との比較では、ほとんどの児童が地図資料を左右に並べ、分かったことをワークシートに記入していた。補助資料のトレーシングペーパーを用いて、2つの地図資料を重ね合わせている姿も見られた（図3）。このことから、2つの地図資料について、位置や空間的な視点で資料に着目して捉え、比較ができたと考える。5つの地図資料を提示し、地図資料ごとに考察させたことにより、社会的事象の特色について、児童が多角的に考えることができた。



図3 重ね合わせている様子

また、2つの地図資料の比較から分かったことの理由を考察する際に写真資料を渡したところ、写真資料と地図資料の関連性を推測し、ワークシートに理由を記入していた。このことから、種類の違う資料同士の関連性に着目し、考察できたと考える。

以上のことから複数の地図資料と写真資料を提示したことは、児童が社会的事象の特色について多角的に考える上で、有効であったと考える。

V 研究のまとめ

1 研究の成果

- 社会的事象の見方・考え方の視点を意識した発問を行うことにより、児童が社会的事象の見方・考え方を働かせながら学習活動に取り組めるようになった。
- 複数の地図資料や写真資料を提示し、元になる地図資料との比較・関連付けを行うことにより、社会的事象の特色に対して、児童の多角的に考える力が高まってきた。

2 今後の課題

- 毎時間、視点を意識した発問を行い、児童が社会的事象の見方・考え方を働かせながら学習活動に取り組めるようにする。
- 社会的事象の特色を多角的に考えられるような資料提示を他の単元でも継続して行い、児童の考える力を伸ばしていく。

VI 授業案

第5学年 単元名 工業生産と工業地域 (本時は3 / 4)

本時のねらい 日本の工業のさかんな地域の特色について理解し、地形や製品の輸送などの視点で考えることができる。

主な学習活動	指導の工夫	子供の姿・反応例
<p>○前時の学習を振り返り、本時の学習課題を確認する。</p> <p>・工業のさかんな地域がどこに分布しているか日本地図で確認する。</p>	<p>・前時で使用した工業地域、工業地帯の分布図を用いて、各工業地域、工業地帯名を確認し、工業のさかんな地域の特色についての学習への意欲を高める。</p>	
<p>学習課題 日本の工業のさかんな地域の特色について資料を使って考えよう。</p>		
<p>○位置や空間的な視点を意識した問①について資料を用いて考える。 (ペア学習)</p>   <p>(ペア学習の様子)</p>	<p>発問① 工業のさかんな地域はどのような場所に集まっていますか。工業地域の分布図と他の図とを見比べながら考えてみよう。</p> <p>・「人口分布図」、「地形図」、「交通網」、「主な貿易港」、「気候区分図」など元となる「工業地域・工業地帯分布図」と同じ縮尺の地図資料を配付し、児童がどの地図資料を用いるか取捨選択しながら活動に取り組めるようにする。</p> <p>・資料を重ね合わせてみることができるよう、トレーシングペーパーにコピーしたものを用意しておく。</p> <p>・ペアで活動に取り組み、自分だけでなく、互いの考えを交流させながら活動に取り組むよう助言する。</p>	<p>・「工業地域・工業地帯分布図」と「主な貿易港」 →海沿いに工業のさかんな地域が集まっている。</p> <p>・「工業地域・工業地帯分布図」と「高速道路網」 →内陸部に工業のさかんな地域が集まっている。</p> <p>・「工業地域・工業地帯分布図」と「人口分布図」 →人口が集まっている場所に工業のさかんな地域が集まっている。</p> <p>・「工業地域・工業地帯分布図」と「地形図」 →平野部に工業のさかんな地域が集まっている。</p> <p>・「工業地域・工業地帯分布図」と「気候区分」 →いろいろな気候のどこ</p>

		<p>ろにあるからあまり関係なさそう。</p>
<div data-bbox="225 297 975 454" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>発問② 工業のさかんな地域はなぜこのような場所に集まっていますか。その理由を考えてみよう。</p> </div> <p>○事象や人々の相互関係の視点を意識した問②について資料を用いて説明する。 (ペア学習)</p> <div data-bbox="193 741 552 1014" style="text-align: center;">  </div> <p>(ワークシートに自分の考えを書く様子)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「トラック」、「工場で働く人」、「上空から撮影した大工場」、「停泊している輸送船」の写真資料を配付し、児童がどの写真資料を用いるか取捨選択しながら活動に取り組めるようにする。 ・ワークシートには使用した資料を明示させたり、論理的に説明できるよう定型文を示したりすることで、児童が分かったこととその理由について考えることができるようにする。 「使用した資料名」→(資料から分かったこと)。その理由は、(どうしてそのような考えになったか)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「高速道路網」と「トラック」 →高速道路が近くにあると荷物が早く届けられるから。 ・「人口分布図」と「工場で働く人」 →人口が多い場所だと働く人が多いから。 ・「地形図」と「上空から撮影した大工場」 →工場は平らな所が作りやすいから。 ・「主な貿易港」と「停泊している輸送船」 →貿易港の近くだと海外に輸出しやすいから。
<p>評価 工業のさかんな地域の分布について多角的に考えるとともに、資料を用いて適切に表現している。(ワークシート・観察)</p>		
<p>○学習課題の答えを確認する。(全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入した答えを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者に黒板に答えを書いてもらい、写真資料を提示しながら順番に確認していく。 	<div data-bbox="1038 1503 1414 1767" style="text-align: center;">  </div>
<p>○本時の振り返りをする。(個別)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを用い、本時の学習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・板書を使用し、本時の学習内容を確認するとともに、次時に小単元のまとめを行うことを伝える。 	<p>(黒板に自分の考えを書く様子)</p>

参考文献 澤井陽介：「小学校 新学習指導要領 社会の授業づくり」, 明治図書, 2018.
澤井陽介, 加藤寿朗：「見方・考え方 社会科編」, 東洋館出版社, 2017.